

# あの日を忘れない（東日本大震災）



5月26日(火)東日本大震災の教訓を学ぶ出前授業を実施しました。宮城県山元町の「やまもと語りべの会」で、震災を語り継ぐ渡辺修次さんに、防災の大切さについて教えていただきました。

震災当時、渡辺さんは山元町立山下中学校の校長を務めていました。海岸から8kmほど離れていましたが、同町には約12 m の津波が押し寄せたそうです。教訓として「津波警報が出たらすぐ逃げる(将来、旅行や仕事で海岸近くにいた場合)」「近隣の助け合いが大切。あいさつが防災の第一歩」と教えていただきました。